

5月11日(月) 第1章「式の計算」1-1 単項式と多項式

【学習目標】項に着目して、式を分類したり、式の次数を答えたりすることができる。
【問題】

次の6つの式を「○○○」と「△△△」の2グループに仲間分けするとしたら、何パターンの分け方があるだろうか？
 ㊶ $3xy$ ㊷ $2x-1$ ㊸ -1 ㊹ $a+b+2$ ㊺ $\frac{1}{2}a$ ㊻ $2m^2$

【自分の考えをかきましょう】 ヒント：教科書p12~14, ワークp2を参考にしましょう。

<問題の答え>
10パターン以上ある

解説は動画を見てください。
説明した板書は右の通りです。
他の分け方は、学校再開後に確認しましょう

【今回のポイント】

- ★文字を使った式を、式の形に着目して分類すると単項式と多項式に分けることができる。
- ★文字を使った式には、次数があり、その次数を用いて「○次式」と表すことができる。
- *多項式は、それぞれの項の最大の次数が式の次数になる。

5月12日(火)

【今回のポイント】

【練習問題】

教科書の以下の問題に取り組みましょう。

- ◆教科書p13「たしかめ1」
- ◆教科書p14「たしかめ2」「たしかめ3」「たしかめ4」